

四年下 慣用句	単元	氏名	年組番	8問

1 次の には、後ろの の中の慣用句のうち、どれが入るでしょうか。意味を調べて、当てはめましょう。

(1) ぼくは、規則正しい生活をしようとして、だんだらとした生活に 。

(2) あまりにも忙しいので、 。

(3) 大事な話だったので、 。

(4) 話の内容が、 分かる。

- ピリオドを打った
 - ねこの手も借りたい
 - 手に取るように
 - えりを正した

2 次の慣用句の意味に合うものに○をつけましょう。

(1) 顔が広い。
 よく知られている。
 もの知りだ。
 顔が目立つ。

(2) 雲をつかむ。
 意味がないことをする。
 はっきりしないでつかみどころがない。
 からっぽだ。

(3) 二の足をふむ。
 二回足ぶみをする。
 人の足をふんでしまう。
 気が進まず、ぐずぐずする。

(4) 朝めし前。
 朝ごはんをたべる前。
 かんたんにできること。
 時間がかかりすぎること。

単元	年組番	7問
四年下 慣用句	氏名	

1 次の慣用句の意味を調べて、短い文をつくりましょう。

〈例〉むねを打つ

彼の勇気ある行いは、人びとの胸を打った。

(1) 足が出る。

〈意味〉予算をこえて、お金が足りなくなること
 〈文〉母へのプレゼントの予算は、三千円だったが、五百円も足が出てしまった。

(2) 三日ぼうず

〈意味〉決めたことが長続きしないこと。あきっぽいこと。
 〈文〉新年になり、わたしは、毎日必ず日記をつけようと思ったが、三日ぼうずだった。

2 () に生きものの名前を入れて、慣用句をかんせいさせましょう。

(1) () すすめ () のなみだほどのお金。

(2) () か () のなくような声。

(3) 先生の () つる () の一声で、会場は静まった。